

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成26年2月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1- 、図2）
F1噴気孔群及びF2噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。
- ・地震及び微動の発生状況（図1- ）
火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図1- ）
GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) 気象庁では衛星測位システムを用いた位置測定を、これまで「GPS観測」と表記してきましたが、今後は「GNSS観測」と表記します。GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成26年3月分）は平成26年4月8日に発表する予定です。

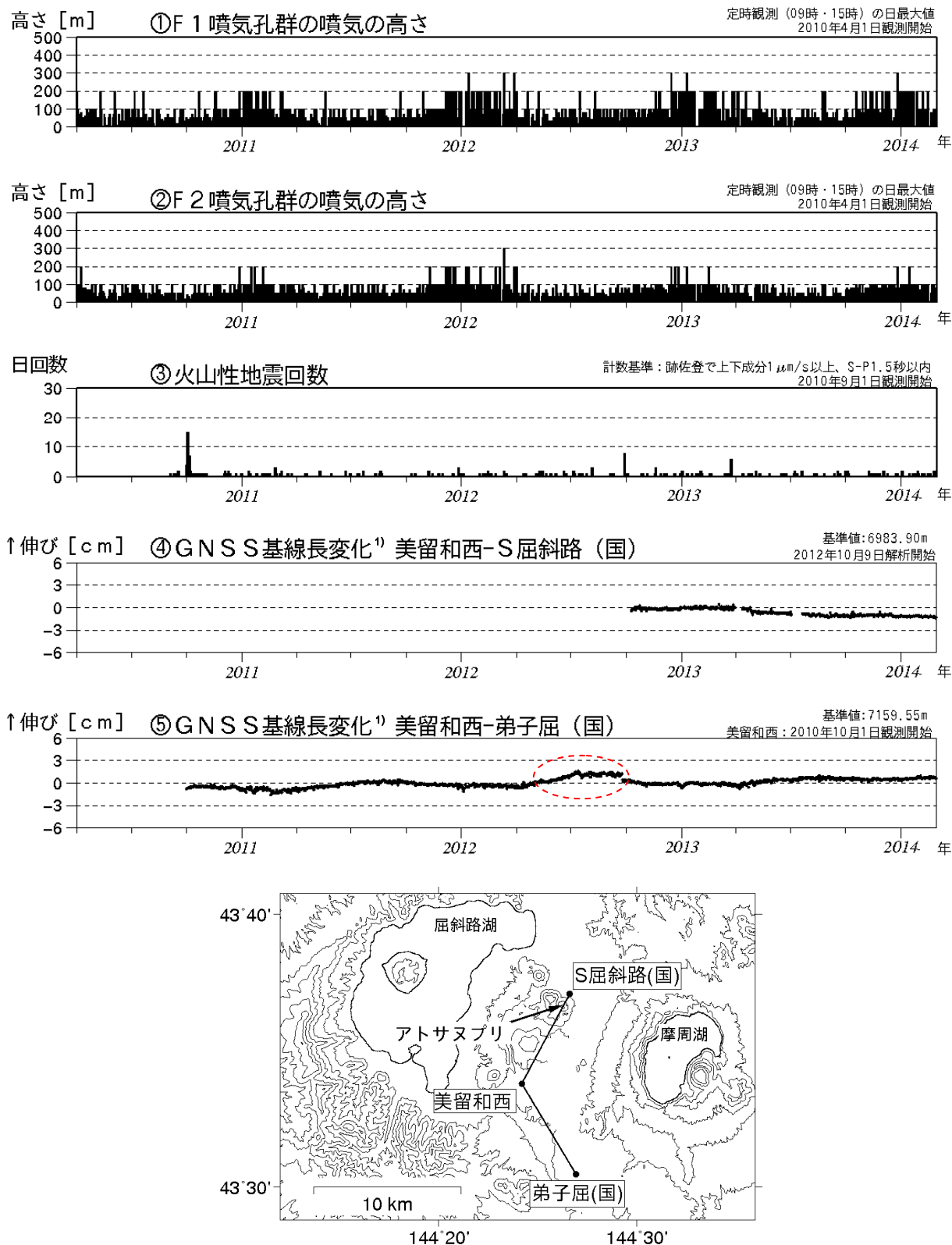


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図（2010年4月～2014年2月）及びGNSS連続観測点配置図¹⁾
 ・GNSS基線の 空白部分は欠測を示します
 ・ の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採（2012年9月下旬）によるものです
 ・(国)：国土地理院

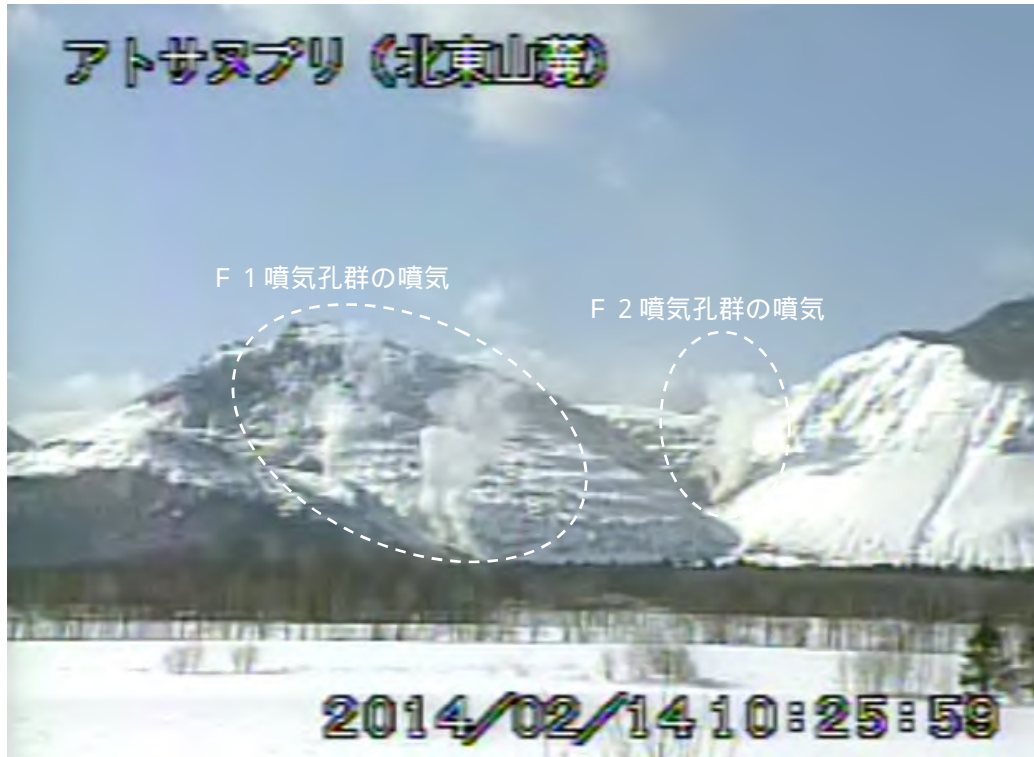


図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
（2月14日、北東山麓遠望カメラによる）

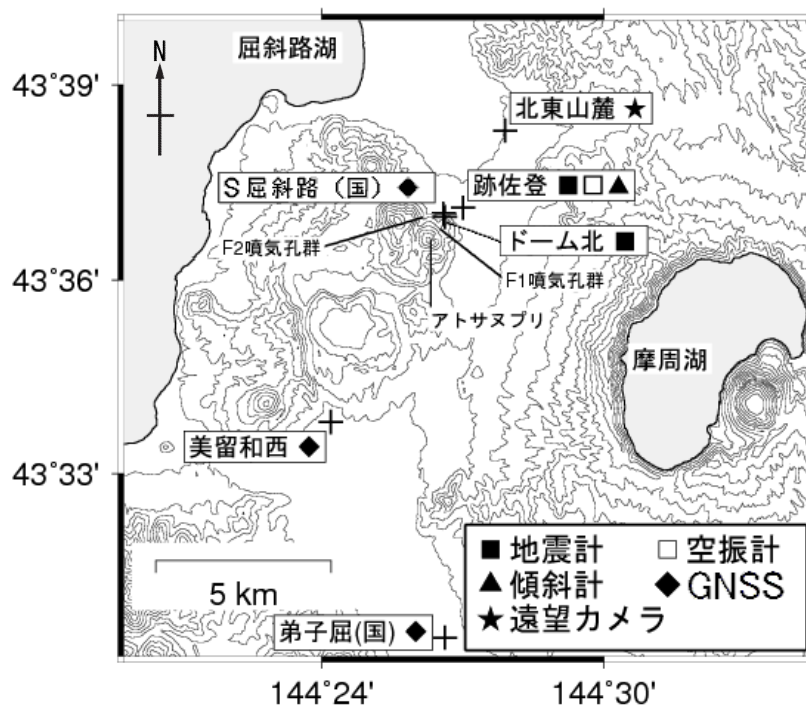


図3 アトサヌプリ 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を
付しています
(国): 国土地理院